

redmonitor operating manual

(ver_1.0)

2013 July 8th / 3hands inc.

版数管理

date	ver	comment
2013.7.8	1.0	リリース版

本書の目的

本書、『redmonitor operating manual』は、例に従い、redmonitorの標準的な操作手順を説明する資料です。各機能についての解説等は、RED MONITOR ホームページのヘルプコンテンツ（<http://redmonitor.jp/help/index.html>）をご確認ください。

注意

本書は、予告なく更新されることがあります。

RED MONITOR に関するお問い合わせは、スリーハNZ株式会社のお問い合わせフォーム（<https://3hands.jp/contact/form/index.html>）から、お問い合わせくださいますよう、お願い致します。

目次

1. redmonitor について	1
1.1. redmonitor でできること	1
1.1.1. 監視	1
1.1.2. 警告	1
1.1.3. 報告	1
2. 操作手順例（監視編）	2
2.1. 基本設定の操作手順	2
2.1.1. グループの作成	2
2.1.2. ホストの設定	4
2.1.3. スキャン開始	6
2.2. 設定変更・追加設定について	7
2.2.1. 監視サービスの追加	7
2.2.2. グループの編集	9
2.2.3. ホストの作成	9
2.2.4. ホストの更新	10
2.2.5. 監視サービスの設定	12
2.3. 監視管理情報設定	13
2.3.1. アクションの設定	13
2.3.2. 監視間隔の設定	17
3. 操作手順例（警告編）	20
3.1. 画面による確認	20
3.1.1. アラートの表示	20
3.2. 確認内容のファイル出力	20
4. 操作手順例（報告編）	22
4.1. グラフの確認	22
4.2. サマリーの確認	24
4.2.1. 評価ルールについて	24
4.2.2. 直近のトータル評価	24
4.2.3. 過去のサマリー	25

1.redmonitor について

～驚くほど手軽に、サーバを、監視できます。そう、redmonitor ならね。

1.1.redmonitor でできること

1.1.1.監視

redmonitor では、管理サーバからインターネット経由で監視対象のホストの状況を自動的に監視します。また、プラグインを適用することなどにより、ホストのリソース、コンテンツの内容、web アプリケーションの動作結果等の監視も可能です。

なお、ホストの管理単位としてグループを作成するため、担当部署単位や拠点単位等での監視結果の把握も行えます。

1.1.2.警告

ホストに対する監視結果と予め定義した閾値とを比較することにより、異常を検知します。

異常が検知された場合は、メールや電話で通知をしたり、SSH ジョブの実行を要求したりできます。

1.1.3.報告

各監視項目に対して、閾地を設定し、正常、警告（WARNING）、失敗（CRITICAL）の3段階評価でできます。

また、サマリーとして評点に応じた A~F の6段階評価を行い、監視状況が直感的に把握できるようになっています。

過去の監視結果データを集計した標準グラフ、及び、そのデータを基にした回帰分析により生成される分析グラフを表示します。

過去の監視結果については、CSV 形式ファイルでダウンロードすることも可能です。

2.操作手順例（監視編）

redmonitor を利用する時の手順に沿って、監視設定に係る操作の説明をします。

redmonitor では、はじめに、基本設定として、管理単位としてのグループを作成し、グループ毎に監視対象のホスト及びホストに対する監視パターンを登録し、その後、必要に応じて設定の変更等を行います。

2.1.基本設定の操作手順

2.1.1.グループの作成



- ① 『TOP 画面①（グループ一覧）』の左カラムメニューの〔新しくグループを作る〕ボタンを押します。

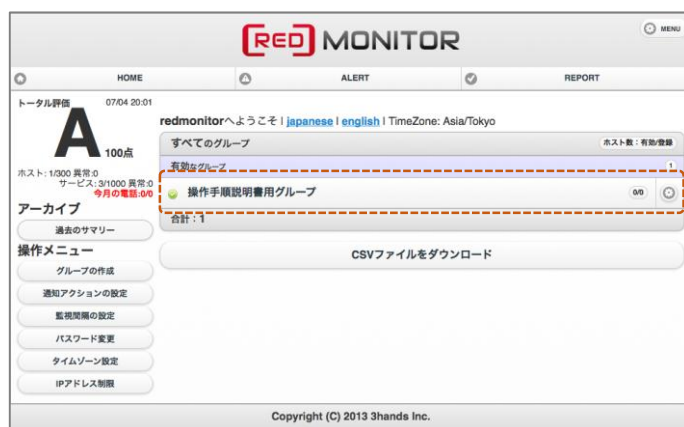


- ② 『グループ作成画面』が表示されるので、グループ名の入力、ステータスの確認、アクションの入力、設定し、〔確認する〕ボタンを押します。

- ✓ ここで登録する内容は、後からでも編集が行えます。本項の⑥を参照してください。
- ✓ アクションの設定については、『[2.3.1 アクションの設定](#)』を参照してください。



- ③ 『確認画面』が表示されます。
- ④ 内容を確認後、〔作成する〕ボタンを押すと、グループが作成され、『TOP 画面（グループ一覧）』に遷移します。

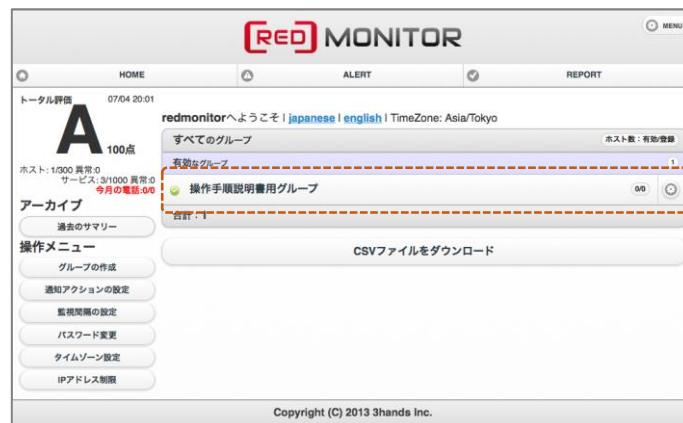


- ⑤ 作成したグループが、グループリストに表示されます。



- ⑥ 一度作成したグループの編集は、編集するグループを選択後の『TOP 画面②（グループ>ホスト一覧）』の右カラムにある「グループの編集」メニューから行います。

2.1.2.ホストの設定



- ① 『TOP 画面① (グループ一覧)』で、ホストを作成するグループを選択します。



- ② 左カラムメニューの〔ホストの作成〕ボタンを押します。



- ③ 『ホスト追加画面』が表示されるので、ホスト名、アドレス、自動スキャン項目、ステータス、アクション、コメントを入力後、[確認する] ボタンを押します。
- ✓ 自動スキャン項目は、ポップアップメニューから選択します。複数選択が可能です。

- ✓ この操作では、標準監視項目のみが設定可能です。拡張監視項目の設定については、『[2.2.1 監視サービスの追加](#)』を参照してください。

RED MONITOR

HOME ALERT REPORT

確認してください。

1. ホスト名
操作手順説明書用サーバ
2. アドレス
www.3hands.jp
3. 自動スキャン
ping ssh smtp http pop dnsexpire dnstbl imap ftp ntp mysql postgresql oracle ldap
4. ステータス
有効
5. デフォルトの通知アクション
グループに従う (group default)
6. コメント
7. ホストが作成されます。

作成する

Copyright (C) 2013 3hands Inc.

- ④ 『確認画面』が表示されます。
- ⑤ 内容を確認後、〔作成する〕ボタンを押すと、ホストが登録され、『TOP 画面②（グループ>ホスト一覧）』に遷移します。

RED MONITOR

HOME ALERT REPORT

グループ評価 更新 NA

NA点

アーカイブ

過去のサマリー

操作メニュー

ホストの登録

グループの編集

操作手順説明書用グループ グループ

すべてのホスト サービス数: 正常: 登録

有効なホスト

操作手順説明書用サーバ (スキャン中...残り 14)

合計: 1

CSVファイルをダウンロード

Copyright (C) 2013 3hands Inc.

- ⑥ 登録したホストが、グループに追加されます。
- ✓ 設定した監視項目に対するスキャンが自動的に始まっています。
 - ✓ 更にホストを追加する場合は、②から⑤の手順を繰り返します。
 - ✓ 登録したホストを削除する場合は、『TOP 画面②（グループ>ホスト一覧）』のホスト一覧表示から、削除したいホスト名の右端の歯車型のアイコンをクリックして行います。詳しくは、『[2.2.4 ホストの更新](#)』を参照してください。

2.1.3.スキャン開始



- ① ホストの設定後、設定したホストに対して、自動的にスキャンが開始されます。
 - ✓ 監視サービスの設定を確認、変更及び削除する場合は、『TOP 画面③（グループ>ホスト>監視サービス一覧）』の監視サービス一覧表示から、対象となるサービス名の右にある歯車型のアイコンをクリックして行います。詳しくは、『[2.2.5 監視サービスの設定](#)』メニューから行います。

2.2.設定変更・追加設定について

2.2.1.監視サービスの追加

ホストの設定後、設定したホストに対して、監視サービスの追加ができます。



- ① 『TOP 画面③（グループ>ホスト>監視サービス一覧）』の「監視サービス作成」ボタンを押します。



- ② 『サービス追加画面』が開かれるので、サービス名、監視タイプ等を設定し「確認する」ボタンを押します。

- ✓ この画面の対象タイプのポップアップメニューでは、拡張監視のタイプも選択できます。
- ✓ サービス名に入力がない場合は、監視タイプに合わせて自動入力されます。



- ③ 『確認画面』が表示されます。
- ④ 内容を確認後、〔作成する〕ボタンを押すと、監視サービスが追加され、『TOP 画面③（グループ>ホスト>監視サービス一覧）』に遷移します。



- ⑤ 設定した監視サービスが、対象ホストに登録されます。
- ✓ 追加した監視サービスの設定を確認、変更及び削除する場合は、『TOP 画面③（グループ>ホスト>監視サービス一覧）』の監視サービス一覧表示から、対象となるサービス名の右にある歯車型のアイコンをクリックして行います。詳しくは、『[2.2.5 監視サービスの設定](#)』を参照してください。

2.2.2.グループの編集



- ① 『TOP 画面②（グループ>ホスト）』の右カラムにある「グループの編集」ボタンをクリックします。



- ② 設定内容が表示されるので、必要に応じて変更します。
- ③ 更新する場合は、「確認する」ボタンを押すと内容確認画面に遷移するので、内容を確認し「更新する」ボタンで確定します。



- ④ 削除する場合は、②の画面で「削除する」ボタンを押した後で表示される「確認」ウィンドウで「削除する」ボタンを押して削除します。

2.2.3.ホストの作成

- ① 「1.1.2 ホストの作成」を参照してください。

2.2.4.ホストの更新

一度登録したホストの設定内容を変更する場合



- ① 『TOP 画面③ (グループ>ホスト> 監視サービス一覧)』の左カラムメニューの「ホストを編集」ボタンをクリックします。

ヘルプ

1. 自動的にスキャンさせた上で、手動で詳細な監視対象を設定できます。

ホストを更新します。

ホスト名: 操作手順説明書用サーバ

例: WEBサーバ
例: DBサーバ

アドレス: www.3hands.jp

例: www.3hands.jp
例: db.3hands.jp

自動スキャン: ☐

どの監視項目を自動スキャンするかを指定してください。

ステータス: ☒ 有効

通知アクション: デフォルトの通知アクション

グループに従う ☒

何もしない ☐

何もしない ☐

サービスごとに別の通知アクションを個別に設定できます。

コメント:

通知時にも利用されます。

確認後、ホストが更新されます。

確認する

削除する

Copyright (C) 2013 3hands Inc.

- ② 設定内容が表示されるので、必要に応じて変更します。
- ③ 更新する場合は、〔確認する〕ボタンを押すと『内容確認画面』に遷移するので、内容を確認し〔更新する〕ボタンで確定します。

確認

本当に削除しますか？

ホスト: 操作手順説明書用サーバ

削除する

キャンセル

- ④ 削除する場合は、②の画面で〔削除する〕ボタンを押した後で表示される「確認」ウィンドウで〔削除する〕ボタンを押して削除します。

2.2.5.監視サービスの設定



- ① 『TOP 画面③（グループ>ホスト>監視サービス一覧）』の監視サービス一覧表示から、対象となるサービス名の右にある歯車型のアイコンをクリックします。

BACK

MONITOR

MENU

HOME

ALERT

REPORT

ヘルプ

1. 保存する、ボタンを押すと保存されます (確認画面はありません)

2. 実際にチェックする場合は、テストする、ボタンを押してください。

3. テストする、ボタンではデータは保存されません。

操作手順説明書用サーバ/http サービス

サービス名

http

ステータス:

有効

無効

スキャン待ち

通知アクション

サービスに適用される通知アクションを設定します。

ホストに従う

何もしない

何もしない

監視設定

対象URL

/

例: /test.html デフォルトは/

警告(WARNING)までの時間

5

例: 5秒

失敗(CRITICAL)までの時間

10

例: 10秒

高度な設定

ポート番号

80

例: 80 443 8080 などチェックするポート番号

ベーシック認証

例: taro:opensesame: で区切って ID:PASSWORD を入力

SSL

off

SSLとして確認する

SSL証明書有効期限

証明書の期限切れを何日前に通知するか

文字検索

例: <html.*<html> 帰ってきたページ内に含まれる文字を正逆両方で検索

リダイレクト時

ok

監視先がリダイレクトされた場合の挙動

ページサイズ

例: 10000-30000 サイズを確認する。サンプルは10000~30000byteの間の数

レスポンス確認

例: 403,404 サーバー応答の1行目に含まれるか確認。複数ある場合は区切り。

更新確認

例: 10ドキュメントが古い場合に警告。デフォルトは秒単位。1m (分), 1h (時間), 10d (日) も可能

POST

例: id=1&pass=sesameGETでなく、POSTを実行する

ユーザーエージェント

例: Mozilla/5.0 (X11; Linux i686) ユーザーエージェントを指定できる

ヘッダー

例: Cookie: hashkey=tarohashkeyHTTP リクエストヘッダーを指定できる

最新の実行結果

2013-07-04 21:18:13 Asia/Tokyo+9

ステータス OK

メッセージ HTTP OK: HTTP/1.1 302 Found - 457 bytes in 0.006 second response

timeltime=0.005749s.5.000000;10.000000;0.000000 size=457B...

監視間隔の設定

default

コメント:

通知時にも利用されます。

保存するか、テストするボタンを押してください。

保存する

テストする

削除する

Copyright (C) 2013 3hands Inc.

① 『設定画面』に従って、設定します。(この画面は、監視パターン http の『設定画面』です。)

✓ 監視パターンによって、設定項目は異なります。

2.3.監視管理情報設定

2.3.1.アクションの設定



- ① 『TOP 画面①（グループ一覧）』の左カラムメニューの「アクションの設定」ボタンを押します。



- ② 「アクションの作成」ボタンを押します。
- ✓ redmonitor の初期状態では、通知アクションは登録されていません。
 - ✓ 登録後の通知アクションを変更する場合は、通知アクションの名称ボタンをクリックします。

③ 『設定画面』に従い設定を行い、〔確認する〕ボタンを押します。

- ✓ 「アクションの名前」は、管理画面上の分類名のほか、警告通知メールのタイトルとしても使用されます。
- ✓ 「内容」には、警告の通知先を入力します。通知先は、通知アクションのタイプに応じて、メールアドレス、若しくは電話番号及びメールアドレスを指定できます。なお、改行により通知先を複数設定できますが、電話番号に紐づくメールアドレスを複数設定する場合は、“,” (半角カンマ) で区切ります。

内容入力例 1) メールアドレスのみで 2 件登録する場合

info1@redmonitor.jp

info2@redmonitor.jp

内容入力例 2) 電話番号及びメールアドレスで 2 件登録し、かつ 1 件の電話番号に 2 つのメールアドレスが紐づく場合

+819011111111,info1@redmonitor.jp

+819022222222info2@redmonitor.jp,info3@redmonitor.jp



- ④ 確認画面が表示されます。
- ⑤ 内容を確認後、〔作成する〕ボタンを押すと、通知アクションが登録され、『アクションの設定』画面に遷移します。



- ⑥ アクションのリストに、登録されたアクションが追加されます。

2.3.2 監視間隔の設定



- ① 『TOP 画面①（グループ一覧）』の左カラムメニューの「監視間隔の設定」ボタンを押します。



- ② 既存の監視間隔のパターンを変更する場合は監視間隔の名称ボタンを、新たな監視間隔のパターンを作成する場合は監視間隔の名称ボタンをクリックします。
- ✓ redmonitor ではプリセットして、「default」として10分周期、「default_hour」として1時間周期、「default_day」として1日周期の3つのパターンが設定されています。
 - ✓ この3つのパターンは、内容の変更は可能ですが、名称の変更はできません。

BACK HOME ALERT REPORT MENU

ヘルプ

1. 監視間隔はグループ、ホスト、サービスの何れかに設定してください。

監視間隔の設定名 【操作説明書用】 30分間隔

監視間隔 30分

リトライ間隔 10分

異常とするまでの回数 2

設定項目がありません。:

日付範囲で指定

時間帯で指定

曜日で指定

確認後、通知アクションの設定を保存できます。

確認する

Copyright (C) 2013 3hands Inc.

- ③ 画面に従い設定を行い、「確認する」ボタンを押します。

BACK HOME ALERT REPORT MENU

確認してください。

1. 監視間隔の設定名 【操作説明書用】 30分間隔

2. 監視間隔 30分

3. リトライ間隔 10分

4. 異常とするまでの回数 2回

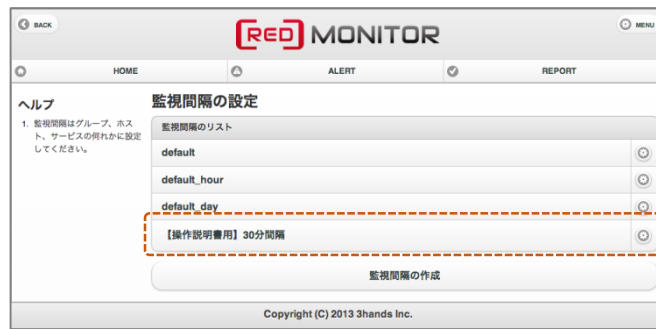
5. 設定項目がありません。

6. 宜しければ更新するボタンを押すと監視間隔の設定が作成されます。

作成する

Copyright (C) 2013 3hands Inc.

- ④ 『確認画面』が表示されます。
- ⑤ 内容を確認後、「作成する」ボタンを押すと、監視間隔が設定され、『監視間隔の設定』画面に移ります。

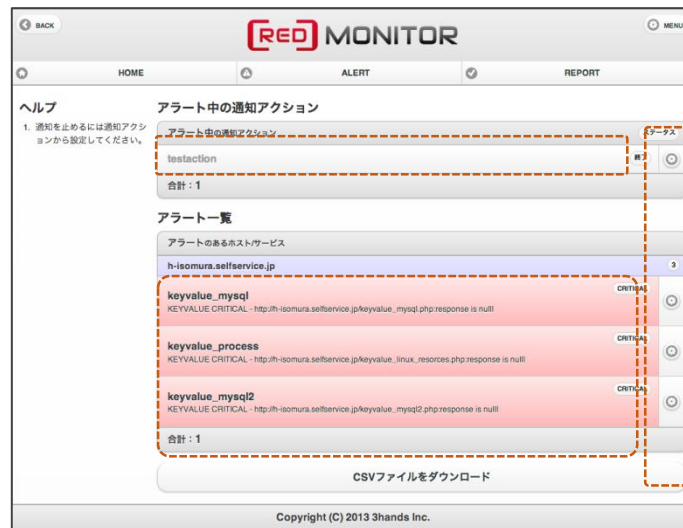


- ⑥ 監視間隔のリストに、登録された監視間隔が追加されます。

3.操作手順例（警告編）

3.1.画面による確認

3.1.1.アラートの表示



- ① 『ALERT 画面』を表示すると、メインエリア上部にアクション中のアラート、下部にアラート一覧が表示されています。

✓ それぞれの詳細を確認等する時は、右端の歯車型のアイコンをクリックします。

3.2.確認内容のファイル出力



- ① 『ALERT 画面』下部の「CSV ダウンロード」ボタンをクリックすると、アラート一覧の内容が CSV 形式のファイルでダウンロードされます。
- ✓ ダウンロードされるファイルの名称は、「(要、仕様確認) .csv」です。

4.操作手順例（報告編）

4.1.グラフの確認



- ① 『REPORT』画面の、メインエリア上部にある「過去のグラフ」ボタンをクリックすると、「グラフ選択画面」に遷移します。

RED MONITOR

過去のグラフを確認できます。

グループとホストを選んでください

グループ選択

グループ:

北海道データセンター

グループ選択

ホスト選択

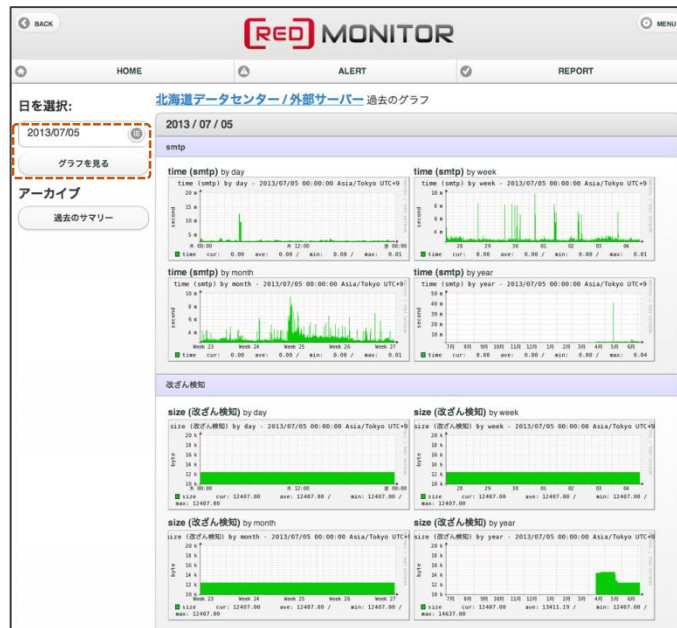
ホスト:

外部サーバー

グラフを見る

Copyright (C) 2013 3hands Inc.

- ② 『グラフ選択』画面で、グラフを確認したいホストを、グループから選択します。



- ③ ②で選択したホストの、当日を基点日とした、過去のグラフが表示されます。
- ④ 基点日を変更する場合は、左カラムメニューの「日を選択」メニューから日付を設定し、「グラフを見る」ボタンをクリックして確定します。
- ✓ それぞれの詳細を確認等する時は、右端の歯車型のアイコンをクリックします。

4.2.サマリーの確認

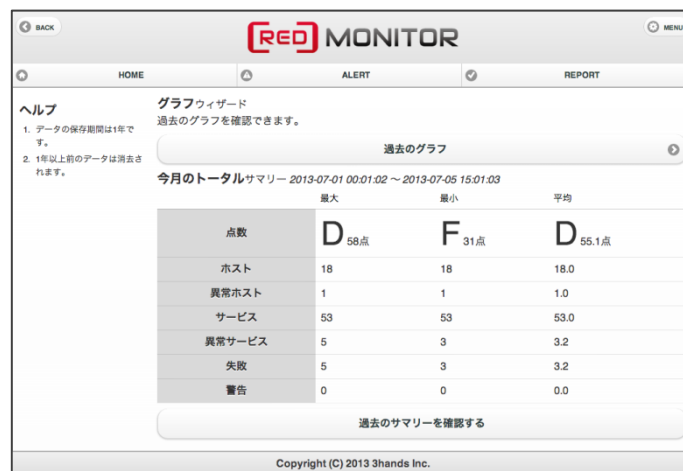
4.2.1.評価ルールについて

redmonitor では、監視結果を、A から F までの 6 段階で評価し、稼動状態のベンチマークとします。

4.2.2.直近のトータル評価



- ① 『TOP 画面① (グループ一覧)』を表示すると、左上に「トータル評価」が表示されます。



- ② 『REPORT』画面では、当月のサマリーを確認できます。

4.2.3.過去のサマリー



- ① 『TOP画面① (グループ一覧)』の左カラムにある「過去のサマリー」メニュー、若しくは、『REPORT』画面下部の「過去のサマリーを確認する」ボタンをクリックすると、「アーカイブ選択」画面に遷移します。



- ② 閲覧する期間を指定します。
- ✓ 標準では、全体のサマリーを参照します。グループ、ホスト単位での参照を行う時は、下部の「グループ選択」メニューや、グループ選択後に表示される「ホスト選択」メニューから対象を設定します。



③ サマリーが表示されます。

- ✓ 標準では、年単位のサマリーが表示されます。月、日単位での参照を行う時は、下部の「月選択」メニューや、月選択後に表示される「日選択」メニューから期間を設定します。

RED MONITOR 等に関するお問い合わせ先

<https://3hands.jp/contact/form/index.html>

スリーハnds株式会社

東京都千代田区永田町 2-11-1 山王パークタワー3F

<http://3hands.jp/>